

第3期土浦市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン（案）・総合戦略（案）のパブリック・コメント実施結果について

1 実施結果

募 集 期 間	令和6年12月9日（月）～令和7年1月10日（金）
募 集 方 法	第3期人口ビジョン（案）・総合戦略（案）を市のホームページに掲載したほか、本庁舎（政策企画課及び情報公開室）、都和支所、南支所、上大津支所、新治支所、神立出張所、一中地区公民館、二中地区公民館、三中地区公民館、四中地区公民館、上大津公民館、六中地区公民館、都和公民館及び新治地区公民館に設置し、持参、郵便、FAX、電子メール又は入力フォームのいずれかにより募集を行った。
意見提出者数	2人
意 見 件 数	5件
市ホームページ閲覧数	125件

2 提出された意見とその意見に対する考え方

意見 No.	項目	意見内容	意見に対する考え方	方針の修正内容
1	子育て世帯アンケートの分析結果について	本アンケートには自由記述も含めて本資料に記載されていない設問も多くあると思う。本資料に記載されていない設問（特に自由記述）において、どのような回答があり、それに対し市当局としてどのような分析をしているのか、どのような対応を行った（あるいは行うのか）のか別冊の参考資料としてでもよいので公表すべきと考える。	- ご意見をいただきました、各種アンケート調査の結果につきましては、第4回土浦市まち・ひと・しごと創生有識者会議の「資料2 アンケート調査結果報告書【概要版】」及び「参考資料2 アンケート調査結果報告書」において整理するとともに、市ホームページにおいて公表しています。 - また、自由記述については、A Iを活用して記述内容の整理・分析を行い、第5回土浦市まち・ひと・しごと創生有識者会議（資料1－2）で提示するとともに、アンケート調査の結果を踏まえ、子育て支援や公園整備などについて、総合戦略（案）に反映しています。 - ご意見を踏まえ、第3期土浦市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略の公表にあわせ、アンケート調査結果報告書についても、改めて公表いたします。	変更なし

意見 No.	項目	意見内容	意見に対する考え方	方針の修正内容
2	鉄道整備をきっかけとした取り組みについて (T X延伸、J R 常磐線の羽田空港アクセス線)	・ T X延伸については、茨城県当局としては土浦駅までの延伸を進めていくことにはしているが、その整備主体や時期については未決の部分が多くあるという認識である。 ・ 当面の現実的な取組としては、国や J R 東日本が2032年度開業を目指して整備している羽田空港アクセス線とそれによる常磐線の改善をきっかけとした、企業誘致の取組や東京近辺からの移住者の取り込みに向けた活動があり得るのではないか。この点に関する市当局の考えを教えてほしい。	・ 本市におきましては、これまでの取組の成果に加え、J R 常磐線の上野東京ラインが開通したことなどを契機として、大幅な転入超過となっています。 ・ この流れを加速させるため、ご意見をいただきました、J R 常磐線の利便性の向上を契機とした「企業誘致の取組」や「東京近辺からの移住者の取り込みに向けた活動」が非常に重要であると認識しており、本市では以下の取組を推進しています。 ・ J R 常磐線につきましては、羽田空港アクセス線（仮称）の整備も含め、輸送力強化や更なる利便性の向上のため、関係市町村とも連携しながら要望活動等を行っています。 ・ 本市では、J R 常磐線の3駅や常磐自動車道の2つのインターチェンジなど、交通アクセスや輸送能力に優れるといった大きな利点を生かし、都内で行われる企業出展会など様々な機会を通して、本市の特性をP Rしながら、企業誘致を進めています。 ・ また、企業立地補助金・奨励金制度の活用による企業・事業所等の立地促進に加え、	□修正箇所 総合戦略（案）p104 戦略分野Ⅲ 基本施策② 〔施策方針と主な取組〕地域内外のモビリティの向上 □修正内容（下線部分を加筆） ・ 『<u>羽田空港アクセス線（仮称）の整備等も見据えつつ、輸送力の強化及び利便性の更なる向上に向けて、</u>』

意見 No.	項目	意見内容	意見に対する考え方	方針の修正内容
2 (続き)	鉄道整備をきっかけとした取り組みについて (T X 延伸、J R 常磐線の羽田空港アクセス線) (続き)		スマートインターチェンジの整備に伴う新たな土地利用の誘導や、インターチェンジ周辺地区における新たな産業用地の創出により、企業を誘致し雇用を図るための取組を推進しています。 (戦略分野Ⅱ 基本施策② に位置付け) ・移住促進につきましては、若者の結婚に伴う新生活のスタートアップに係る経済的支援や新婚世帯・子育て世代に対するまちなかへの定住支援等に加え、若者の経済的負担を軽減するため、奨学金の返還支援と就職活動に要した交通費等の支援を実施し、本市へのU I J ターンを促進します。 (戦略分野Ⅲ 基本施策③ に位置付け)	

意見 No.	項目	意見内容	意見に対する考え方	方針の修正内容
3	戦略分野Ⅰについて	・計画については、特に人口動態がよく分析されており、全体としてよくできた計画だと思うが、土浦市の独自性が加味されていないと思う。 ・土浦市には全国に誇れる事項がいくつもあるため、強みから魅力を更にクローズアップさせて、子育てしたい、観光に行ってみたい、仕事で使ってみたいと思わせる都市づくりを目指すべきである。 ・親の希望は、偏差値の高い高校への入学、健康健全な心身を持つ子どもの育成である。学業では土浦一高と、スポーツでは常総学院や土浦日大高校とタイアップし、教育都市を構築する施策を推進してほしい。	・本市は、約14万人の人口に対して10校の高等学校を有しており、市内はもとより近隣地区からも多くの学生が集うまちであることから、「学びのまち土浦」を掲げ、まちをあげて子どもたちを育み多彩な学びを実現するために取り組んでいます。 ・また、本市では高等学校が多い特徴をいかし、学祭TSUCHIURAなど高校生と連携した取組を推進し、土浦に愛着を持ち主体的に本市に関わる機運の醸成を図っており、総合戦略（案）においても新たに「子ども・若者主体のまちづくりの推進」を位置付けています。 （戦略分野Ⅰ 基本施策④ に位置付け） ・将来を担う高校生は本市の宝であり、今後も高校生をはじめとした若者主体のまちづくりを進め、地域の活性化につなげてまいりたいと考えています。	変更なし

意見 No.	項目	意見内容	意見に対する考え方	方針の修正内容
4	戦略分野Ⅱについて	筑波研究学園都市と成田空港を結ぶ立地から教育研究施設、宿泊会議支援施設の建設支援をしてほしい。	- 本市は、東京から約60km、茨城空港から約20km、成田国際空港から約40kmの距離にあり、J R常磐線の3駅や常磐自動車道の2つのインターチェンジを有する交通アクセスのほか、筑波研究学園都市に隣接しており、ビジネスや教育の拠点となっています。 - そのような中、ご意見をいただきました、企業・事業所等の立地促進等につきましては、市内に新たに立地し又は既存施設を増設する企業に対し、企業立地補助金及び奨励金を交付するなど、強力に推進しています。 (戦略分野Ⅱ 基本施策② に位置付け) - 今後は、スマートインターチェンジ整備やTX土浦延伸等の交通ネットワーク形成を見据え、新たな開発候補地選定に向けた調査・検討を進めていきたいと考えています。 (戦略分野Ⅳ 基本施策③ に位置付け)	変更なし

意見 No.	項目	意見内容	意見に対する考え方	方針の修正内容
5	戦略分野Ⅱについて	熊本のからし蓮根に負けない新たなれんこんブランドの創設等を行い、地域経済の活性化や雇用の創設を図ってはどうか。	- 本市では、れんこんを始め、グラジオラスやアルストロメリアなどの花き類、米、果樹、野菜など、様々な農産物が生産されており、ブランド化した農産物等（土浦ブランド）を最大限活用し、農産物の付加価値向上や6次産業化を通じて、新たな雇用を創出する取組を推進しています。 - ご意見をいただきました、れんこんにつきましては、令和4年に農林水産課に「日本一のれんこん担当」職員を配置し、取組を強化しています。 - れんこん日本一の産地としての知名度向上と消費拡大を図るため、PRや販売促進、品質向上などに努めるとともに、れんこん焼酎「土浦恋婚」の販売や民間事業者との連携による「れんこんサラダ化プロジェクト」、「マンホールカードの作成・配布」など、様々な取組を推進しています。 （戦略分野Ⅱ 基本施策① に位置付け） - 今後もブランド化した農産物等（土浦ブランド）を最大限活用し、地域経済の活性化や雇用の創出を図りたいと考えています。	変更なし